

北豊島工業高校 図書館だより



1月、1年間の締めくくりの3学期がスタートします。

3年生の登校期間もあとわずかですね。そのため、3年生の

図書の貸出は、1月31日(月)までとなります。(リクエストなど事情がある場合は相談してください。)未返却の図書が手元にある人は、忘れずに返却してください。

今月の図書館前廊下展示ケースの特集は「みんなが知ってる 原作本」です。

2022年もよろしくお祈いします！

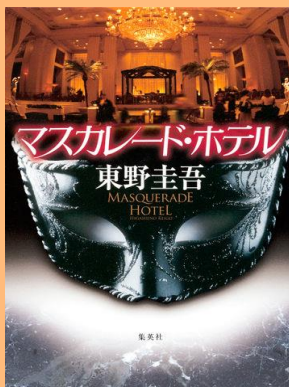
(北豊島工業高校図書館 高木 千里)

特集展示「みんなが知ってる 原作本」



年末年始を迎え家族とともに過ごす時間が増えるにあたり、読書を通して家族のコミュニケーションを深めることを目的とした新しい読書運動「家読(うちどく)」を推進するため、「みんなが知ってる 原作本」特集を企画しました。一般的に知られている原作本は、皆で楽しめ、映像作品とは一味違ったおもしろさがあり、作品を2度楽しむことができます。映像を観てから読むか、原作を読んでから観るか、別の作品として楽しんだり、原作と映像の違いについて考察するなどして、充実した家時間を過ごすことができるよう、また、本について語り合うことで、家族の絆がさらに深まるよう、12月1月の寒い季節を原作本で楽しみましょう。

特集展示からのおすすめ本



「マスカレード・ホテル」
集英社 東野圭吾 著
913.6 ヒ



「東京喰種 トーキョーグール【昔日】」
集英社 石田スイ/十和田シン 著
913.6 イ

先生からのおすすめ本のコーナーです。

第4回は、工業科機械類系 内田 幸彦先生からのおすすめ本です。



内田 幸彦先生からのおすすめ本

「そして、バトンは渡された」

瀬尾 まいこ 著 // 文藝春秋 // 913.6セ

この作品は、親の死、再婚や離婚などで4度も苗字が変わった主人公の森宮優子が、それぞれの親と関わりながら、どのように成長していくのかを描いた物語である。優子の小さいころの話から、大人になり結婚するまでが描かれています。「親が頻繁に変わってしまう子ども」とだけ聞くと、辛い境遇で育ったのではないかという先入観を持ってしまいがちですが、この作品はどこかユーモアもあり、明るく温かい気持ちで読み進めることができます。親と子、家族との繋がりや血の繋がり以上に、愛情や一緒に過ごした時間の大切さを感じさせる、家族を大切にしたいと思わせてくれる作品となっています。この正月休みに一度読んでみてはいかがでしょうか。



12月新着図書からのおすすめ本

「宇宙人と出会う前に読む本 全宇宙で共通の教養を身につけよう」

高水 裕一 著 // 講談社 // 404タ

BLUE BACKS

宇宙人と出会う前に読む本

高水裕一



宇宙飛行士にはなれなくても、宇宙へ行くことが出来る時代がやってきました。生命がいそうな惑星の候補は、現在約10個程度と言われています。そしてそこでもしあなたが宇宙人と出会い、こんなふうに尋ねられたら、何と答えますか？「あなたは何でできていますか？」「あなたは左右対称ですか？」私たち地球人も宇宙人、この本は「ちゃんとした宇宙人になるためのガイドブック」です。宇宙人が繰り出すさまざまな質問に答えていくうちに、宇宙で本当に必要な科学知識とは何か、宇宙的思考法とはどういうものが、自然と身に付く1冊です。



【北豊島工業高校図書館からのお知らせ】

11月に行った雑誌アンケートの結果、来年度4月から、新たに「週刊ベースボール」と「MonoMax」（月刊）を購入することになりました。

寒い季節ですが、図書館内は皆さんが過ごしやすい室温を心がけています。いつでも気軽に足を運んでくださいね。

